

# 羽田空港情報をご利用ください。

フライト情報やイベント情報、店舗情報など、インターネットで発信しています。

## 羽田空港 国内線旅客ターミナル BIG BIRD

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

フライト情報をはじめ、羽田空港のご利用に有用な情報を網羅して発信しています。


## facebook

<https://www.facebook.com/haneda.airport>

イベントレポートや施設のおすすめ情報などをタイムリーに発信しています。上記URLからアクセスすることができます。



## スマートフォン対応アプリ

ご搭乗予定のフライトを「マイフライト」として登録することができます。

スマートフォン端末向けアプリ概要

アプリ名	「羽田空港 国内線」
対象機種	iPhone iOS4.3以上搭載のiPhone Android OS 2.2以上の各社スマートフォン
提供方法	App Storeよりダウンロードいただけます。(無料) Google Playよりダウンロードいただけます。(無料)



株主・投資家の皆さまへ

# 第71期株主通信

2014年4月1日～2015年3月31日



日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号  
(第1旅客ターミナルビル)

TEL:03-5757-8000

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>

VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証用紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷方式」を採用しています。



日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

証券コード：9706





代表取締役社長

鷹城 勲

**Q** 訪日外国人の増加など、航空需要の伸びが顕著ですが、業界の動向について教えてください。

**A** 国際線の外国人旅客数は増加しており、政府の観光立国推進政策により今後も増加し続けると考えています。

中国や台湾といった東アジアだけでなく、タイ、フィリピンおよびベトナムといった東南アジアの訪日需要も増加を続けており、訪日外国人旅客数は本年4月に単月で過去最高の約176万人を記録するなど着実に増加しております。

これは、ビザ発給要件の緩和、消費税免税制度の拡充等の観光立国推進施策などが、アジア地域における訪日インバウンド需要の増加に寄与したもので、これらは航空業界にとっても追い風となり、国際線の外国人旅客数は増加の一途を辿っています。

今後も首都圏空港では、さらなる発着枠の拡大が検討されていることに加え、観光立国推進施策の継続的な展開からも、いよいよ政府が2020年に掲げる訪日外国人客数2,000万人を前倒しで達成する可能性も出てきました。

**Q** 当期の主な取組みについて教えてください。

**A** 中期経営計画の重点課題に取り組むとともに、訪日外国人顧客を取り込むための販売促進を行いました。

当期は中期経営計画の重点課題に取り組むとともに、増加を続

ける訪日外国人顧客を取り込むため、旅行代理店と連携した店舗誘客や顧客ニーズに合わせた取扱商品の見直しなどの販売促進を行ってまいりました。

まず、「羽田国際化への対応」につきましては、これまで、内陸乗継施設の整備やホテルの新設など、国際航空需要の拡大に対応した取組みを実施してまいりました。今後は5年後に控えた東京オリンピック・パラリンピックを見据え、多言語化など案内機能の拡充やユニバーサルデザインを意識した乗継利便の強化を行い、迅速かつ円滑な移動に資する施設整備等のハード面、日本の「おもてなし」が感じられるサービス提供等のソフト面での施策を具体化してまいります。

次に、「新しい空港運営の未来の構築」につきましては、これは当社グループのチャレンジプロジェクトともいえるもので、当社グループが長年羽田空港において培ってきた旅客ターミナルビル運営のノウハウを生かし、国内では仙台空港、海外では東南アジアの空港など、いずれも質の高い空港サービスの提供を通して、各空港と地域の活性化に貢献すべく、現在、運営参画に向けた準備を進めているところです。

このほかにも、航空会社をはじめ他の事業者ともさらなる協調関係の構築を目指した施策も検討してまいります。

また、銀座三越の空港型市中免税店につきましては、引き続き、店舗デザインやMD等の準備を進めているところです。空港免税店にはないブランドの導入、空港では味わえない空間演出、さらに日本ならではのおもてなしのサービスを提供することで新たなマーケットを創造し、免税事業全体の底上げと、観光立国の推進に貢献していきたいと考えております。

「事業収益性の改善」としましては、まず物販事業につきましてはプライベートブランドの拡大による原価率改善、また、既に関西国際空港では外国人利用者が日本人利用者を上回るなど、顧客層に変化が見られることから、特に購買力の高い中国人の顧客を中心に、店舗誘客策や取扱商品の見直しなどを行い、成果をあげてまいりましたので、引き続き、顧客ニーズに合った施策を実施してまいります。

また、従前より収支改善に努めていた飲食事業につきましては、魅力的な新業態の店舗をオープンするなど収益力の向上に努め、機内食事業においても、羽田・成田の外国航空会社より機内食を新規受注するなど、昨年9月に資本業務提携契約を締結したLSG社の

## 訪日外国人増加を背景に オール羽田で、羽田空港の魅力を高めます。

協力のもと、経営効率化と営業力強化に努めてまいりました。今後も企業体質の強化を目的とした収支改善に取り組んでまいります。

**Q** 2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの対応など次期以降の取組みについてお聞かせください。

**A** 国、航空会社、鉄道会社等とも連携し、オール羽田で積極的に旅客ターミナルビルの機能向上に取り組みます。

国は、2020年に向けた首都圏空港のさらなる発着枠拡大について、羽田は3.9万回増加と言われておりますが、国際線を中心とした空港処理能力の拡大を進めています。

今後より具体的な航空政策が示されてくるものと思われませんが、我が国の国際競争力の強化、国内各地への経済効果の波及などといった観点からも、より一層、首都圏空港の機能や魅力を向上していくことが大変重要となってきます。

こうした状況を踏まえ、当社グループは国内線旅客ターミナルビルのリニューアル等、まずは注力すべき中期経営計画の課題に取り組む、中計最終年度の目標でもある「羽田空港国際化の進展に対応した設備投資を執行しながら目標利益率を確保すること」を確実に遂行していくとともに、様々なリスク要因を踏まえ、空港内外における魅力的な店舗展開や、海外空港運営などの当社の特色を生かした事業展開にも積極的にチャレンジし、経営基盤の強化に努めてまいります。

また、当社グループが60年間培ってきたノウハウや最先端技術を活用し、羽田空港跡地開発への参画を含め、本年をスタートの年として、5年後に控えた東京オリンピック・パラリンピックへの対応、さらなる国際競争力の強化に向けて、国、航空会社、鉄道会社等とも連携し、オール羽田で国内線・国際線の分けなく、発着枠の拡大に応じた施設整備など、積極的に旅客ターミナルビルの機能向上に取り組んでまいります。さらに、羽田から海外への日本の魅力の発信、日本ならではの

“おもてなし”の提供など、地方創生ひいては観光立国の実現に向けた、航空と観光の結びつきを通じて、旅客ターミナルビルそのものの魅力を向上してまいります。

**Q** 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

**A** SKYTRAX社実施の国際空港評価「World's Best Domestic Airport」部門において、3年連続で世界第1位の評価をいただきました。

おかげさまで、羽田空港旅客ターミナルは昨年、SKYTRAX社の実施する「Global Airport Ranking」において、日本の空港では初めて世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得いたしました。また、本年3月には当社が実施する国際空港評価の「World's Best Domestic Airport」部門において、2013年から3年連続で世界第1位の評価をいただくことができました。

これもひとえに、皆さま方の弊社事業へのご理解とご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

今後も空港を利用されるお客さまを第一に考え、安全性はもちろん、利便性・快適性・機能性に優れた施設とサービスを提供し、お客さまから信頼され続ける世界No.1品質の旅客ターミナルを目指し、航空輸送の発展に貢献してまいりたいと考えております。

配当につきましては、羽田空港の一層の機能強化が求められる中、大規模投資を考慮して内部留保を確保すると同時に、株主還元、利用者還元を行うことを基本方針としております。期末配当金につきましては、1株当たり9円と予想しておりましたが3円増配し、12円とすることといたしました。これにより年間配当金は中間配当金9円と合わせて、1株当たり21円とさせていただきます。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 2020年以降を見据えた取組みについて

## 国、航空会社などと連携を強化し、オール羽田で取り組んでまいります。

現在、政府は成長戦略の一つの柱として観光立国を推進しています。この効果もあり、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに訪日外国人旅行者数は政府が掲げる2,000万人という目標を前倒しで達成する見込みができました。

こうした状況を踏まえ、東京オリンピック・パラリンピックへの対応はもとより、当社は観光立国推進に貢献すべく、2020年以降を見据え、空港の利便性向上への取組みはもちろん、日本の魅力を羽田空港から発信する取組みを進めてまいります。そして、国や航空会社などとの連携を強化し、「オール羽田」で世界No. 1の空港を目指します。

- 内際ネットワーク強化への対応
- 羽田空港跡地開発への参画
- 次世代ターミナルの創造

2020年

当社の施策

2015年

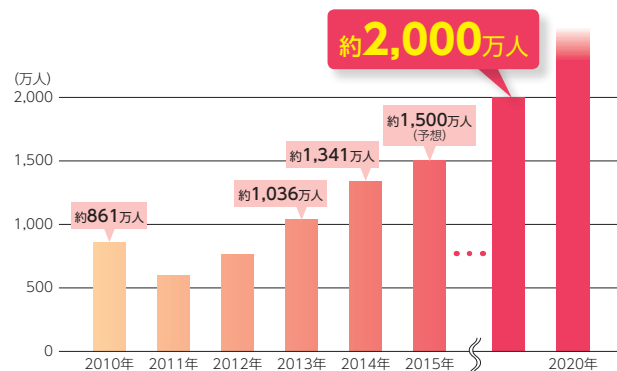
- 国内線ターミナルリニューアル
- 乗継利便の向上
- 多言語化等、案内機能の拡充
- 訪日外国人マーケティング強化

- 3.9万回増枠に応じた施設整備
- 最先端技術の活用
- 都心アクセス機能の強化

日本各地への  
経済効果の波及



■ 訪日外国人旅行者数



観光立国実現に向けた  
航空と観光の連携強化



海外へ向けた  
日本の魅力の発信

利用者目線に立った  
ターミナルの機能向上



訪日外国人増加に対応した  
販売強化



再拡張により発着容量が **1.3倍** (昼間時間帯) に **増加**

再拡張前 30.3万回/年 (830回/日) >> 再拡張後 40.7万回/年 (1,114回/日)





さらなる成長のために、当社の特色を生かした事業展開に積極的にチャレンジしています。

## 1 市中免税店OPENへ向けて

「世界に類を見ない日本にしかできない市中免税店モデル」の創造と「快適で趣のある新しいショッピング体験」の提供を目指します。

〈コンセプト〉

- 見やすく、買いやすく、買いまわりしやすい環境
- 日本ならではの世界最高レベルのこだわりと日本の伝統が融合した品揃え
- 日本が世界に誇る「おもてなしの心」と「最先端テクノロジー」

世界中のお客さまに、洗練された日本屈指の百貨店での免税ショッピングをご提供します。

	免税対象				免税対象者
	消費税	関税	酒税	たばこ税	
市中免税店 [Japan Duty Free GINZA] (空港型免税店)	○	○	○	○	日本から出国する 外国人・日本人
空港内 免税ショップ	○	○	○	○	
街中の消費税免税店	○	×	×	×	日本から出国する外国人 (海外居住日本人含む)

## 2 世界No.1品質を目指して

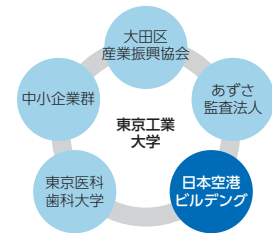
- 設備性能補強、震災対応、保安性能の高度化で絶対安全に努めます。
- 訪日外国人旅客の増加に備え各種機能のレベルアップを図ってまいります。
- バリアフリー、ユニバーサルデザイン(UD)の強化により、すべてのお客さまに優しい旅客ターミナルビルを目指しSKYTRAX社の空港評価5スター獲得を継続してまいります。



イメージ図

## 3 最先端技術開発への参画

東京工業大学が中心となる内閣府の科学技術支援政策「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」に参画し最先端技術開発に取り組んでいます。開発内容は、東京工業大学・東京医科歯科大学の持つ技術シーズを活用した空港内快適移動支援カートロボットと、東京工業大学の持つ技術シーズを活用したデライト・ウェアラブルスーツ(人工筋肉)の実用化・事業化を進めており、当社は実証実験場所の提供と、ユーザー視点からの評価を行っています。



実施体制



空港内における観察セッション

事業環境の変化を着実に業績へと結びつけ、中期経営計画最終年度の目標を達成

当社では、3カ年の中期経営計画(2013年度～2015年度)の数値計画を2014年11月に上方修正いたしました。物品販売業を中心に訪日外国人の増加が追い風となり事業環境の変化を着実に業績へと結びつけ、2年目にあたる2014年度の業績は、営業収益、経常利益、純利益とも過去最高となりました。最終年度にあたる2015年度は、訪日外国人の増加を背景に、免税部門をさらに成長させつつ、中期経営計画の重点課題とする「羽田空港国際化の進展に対応した設備投資を確実に遂行しながら目標利益率(5.2%以上)の確保」を確実に遂行するとともに、60年間培った当社のノウハウを生かした新たな事業展開へのチャレンジを具現化してまいります。

■ 実績・業績予想・計画値 ※当初計画は2013年5月策定、修正目標は2014年11月設定 (単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度		
	実績	実績	業績予想	修正目標	当初計画
営業収益	1,471	1,735	1,900	1,740	1,540
営業利益	61	98	100	90	80
経常利益	57	118	113	100	70
EBITDA	194	217	219	216	205
営業利益率	4.2%	5.7%	5.3%	5.2%	5.2%

### 旅客数の増加

- 羽田空港国際線発着枠の拡大(3万回/年)
- ビザ要件の大幅緩和および円安の進行
- アジア地域の経済成長に伴う訪日インバウンド需要の拡大や消費税免税制度拡充

### 業績への取り込み

- 店舗誘客や顧客ニーズに合わせた商品展開により、購買意欲の高い訪日外国人旅客を取り込み
- 国際線旅客ターミナルビルの拡張と受託業務の拡大 など

### 具体的な取組み

日本初出店のブランド  
ブティック(免税店)の誘致  
(2014年3月)



「イセタン 羽田 ストア(レディス)  
ターミナル1」のオープン  
(2014年7月18日)



ビジネスジェット専用  
動線施設の業務受託  
(2014年9月)



「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」  
のオープン  
(2014年9月30日)



# 羽田空港が国際空港評価 2部門で世界第1位！

羽田空港の国内線旅客ターミナルおよび国際線旅客ターミナルは、英国の航空サービスリサーチ会社のSKYTRAX社が実施する国際空港評価<sup>\*1</sup>において、2015年の国内線空港総合評価部門(3年連続世界第1位)および出発保安検査を評価する部門の2部門で、世界第1位となりました。

また、空港の総合評価である「World's Best Airport」部門においては、昨年6位から5位へ順位を上げました。

今後もお客さまから信頼され、選ばれ続けられるよう、羽田空港全体のサービスレベル向上に努めてまいります。

※1 1989年創立のイギリスに拠点を置く航空サービスリサーチ会社。世界の空港や航空会社の評価を行っており、評価の項目は多岐にわたっています。[WORLD AIRPORT AWARDS 2015]は2014年から2015年にかけて行った世界112カ国、1,300万人による顧客調査であり世界の550空港が含まれています。調査では、空港のチェックイン、出到着、乗り継ぎ、ショッピング、出発時のセキュリティーや出国管理などにおける空港サービスやプロダクトの39の指標により評価されています。



2015年3月11日 パリでの授与式の様子  
右:日本空港ビルデング(株) 藤城 勲社長  
左:東京国際空港ターミナル(株) 田口 繁敬常務



World's Best Domestic Airport

**世界第1位(3年連続)**

羽田空港国内線旅客ターミナル

国内線空港の総合評価部門で、羽田空港国内線旅客ターミナルの使いやすさやアクセスの良さなどが評価され、3年連続での世界第1位となりました。



World's Best Airport Security Processing

**世界第1位**

羽田空港国内線・国際線旅客ターミナル

羽田空港国内線・国際線旅客ターミナルの出発保安検査の対応が優れていると評価され、今回の受賞につながりました。

その他当社が関連する主な部門での評価は以下のとおりです。

The Best Airport Terminal  
Cleanliness  
清掃部門

**第2位**

The World's Best Airport Staff  
職員部門

**第2位**

The Best Airport In Asia  
アジア圏空港部門

**第4位**

※羽田空港旅客ターミナルは、国内線第1、第2旅客ターミナルを日本空港ビルデング株式会社が、国際線旅客ターミナルを東京国際空港ターミナル株式会社がそれぞれ所有、管理・運営をしています。



## 「お客さまの声をかたちに」—— CS活動のご報告

「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」 当社では、この銘文をCS理念とし、羽田空港を利用されるすべてのお客さまにご満足いただけるよう、利便性、快適性、機能性を第一に考え、サービス向上に日々取り組んでおります。お客さまから寄せられたご意見・ご要望にお応えした取組みの一部をご紹介します。

足が悪いので、  
エスカレーターを増やしてほしい。



お客さま

エスカレーターを  
増設しました!!

ご要望が多かった第1旅客ターミナルビル2階と3階レストラン街の間にエスカレーターを増設いたしました。



案内表示が分かりにくい。



お客さま

サインの改修を  
行いました!!

案内表示板のデザインと表現方法を見直し、分かりやすく改修をいたしました。



携帯電話などの  
充電設備を増設してほしい。



お客さま

ゲートラウンジ内に  
充電設備を  
増設しました!!

既存の充電コーナー25カ所に加え、27カ所を新設しました。さらに、充電設備付きのロビーチェアを292席新設しました。





新しいショップが次々オープン

羽田空港第1旅客ターミナル

■2階 出発ゲートラウンジ



SANGOAN HANEDA

ミシュラン東京で1つ星を獲得した実績のある蕎麦屋「白金 三合菴」の新業態、立食い蕎麦。蕎麦前を楽しみ、蕎麦を食べ、「さっと」立ち去る粋な食べ方や文化をお楽しみください。

●営業時間：7:00～20:00



成田空港LCCターミナル

■2階



東京食賓館3

老舗の味から話題の最新スイーツまでこだわりの商品を多数取り揃えた和洋菓子の専門店です。

●営業時間：4:00～21:00



羽田空港第1旅客ターミナル

■南ウイング1階 到着ロビー



BLUE SKY DINING

カジュアルな雰囲気のレストランにカフェを併設。コーヒーやサンドイッチなどのカフェメニューをお楽しみいただけるほか、夜はバーとしてもご利用いただけます。

●営業時間：7:30～23:00 (LO:フード22:00/ドリンク22:30)



成田空港第2旅客ターミナル

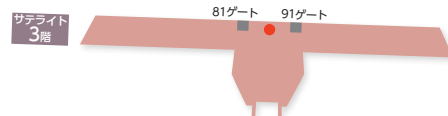
■サテライト3階(出国審査後エリア)



ヴィクトリアズ・シークレット

米国のファッションブランド。人気の下着をはじめ、ボディケア用品やバッグなど、幅広い商品を取り揃えております。

●営業時間：8:00～21:00



★「一心堂本舗」

江戸で生まれた健康づくりの文化「養生文化」を商品を通して今に伝える一心堂本舗。

「歌舞伎フェイスパック」をはじめとしたデザインフェイスパックシリーズと、ごぼう・玉ねぎ・南瓜など、素材を生かしたヘルシーで美味しい野菜おかきを取り揃えております。



[上:歌舞伎フェイスパック/下:源為朝 玉ねぎ煎]

★「清月堂本店」

清月堂本店の代表商品「おとし文」の美味しさをさらに追求した羽田空港限定品「おとし文 匠(たくみ)」。今まで以上にしっとりとした食感を追求し、隠し味に岩塩を加えさっぱりと仕上げました。昔ながらの蒸籠蒸しで仕上げたこだわりの逸品です。



「おとし文 匠」



「羽田スタースイーツ」に人気ブランドが登場

スターになるブランドを羽田空港から全国・世界に発信するスイーツのセレクトショップ「羽田スタースイーツ」から3つのブランドをご紹介します。

★「京菓子處 鼓月」

あっさりとしたシュガークリームを口だけのよい生地でサンドした「千寿せんべい」は、昭和38年に誕生して以来長きにわたり親しまれている鼓月の代表銘菓です。生せんべい「神楽坂どらやき」は、そんな代表銘菓をベースに作られた一品。鼓月神楽坂店と羽田空港だけで販売されている限定商品です。

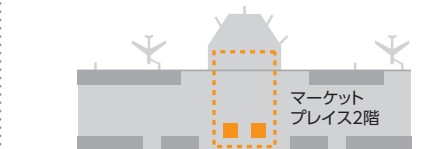


「神楽坂どらやき」

販売場所

羽田スタースイーツ

羽田空港第1旅客ターミナル マーケットプレイス2階  
営業時間：6:00～20:00



## 長期保有株主さま向け 株主優待制度の新設

当社株式を中長期的に保有していただいている株主さまにさらなる感謝の意を表するとともに、当社株式の投資魅力を高め、引き続き当社をご支援いただきたいという思いから、当社株式の保有継続期間が3年を超える株主さまを対象とする長期優待制度を新設いたしました。

2015年3月31日現在の当社株主名簿に、当社株式1単元(100株)以上の株主として記載または記録されている株主さまを対象に、2015年6月より実施いたします。

### 対象となる株主様

毎年**3月31日現在**の株主名簿に、当社株式**1単元(100株)以上**の株主として記載または記録され、**保有継続期間が3年を超える**株主さま  
(**同一株主番号で9月30日および3月31日の株主名簿に連続7回以上**記載または記録された株主さま)

### 長期保有優待の内容

現行の株主優待の内容に加え、所有株式数に基づき、**下記の内容の優待を実施**いたします。  
毎年**1回**、当社定時株主総会終了後の6月下旬に**現行の株主優待と併せて発送**いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	VJAギフトカード 1,000円(1,000円券1枚)
1,000株以上 10,000株未満	VJAギフトカード 2,000円(1,000円券2枚)
10,000株以上	VJAギフトカード 3,000円(1,000円券3枚)

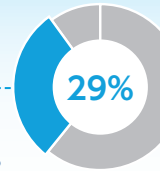


株主優待制度につきましては、当株主通信の17ページもご覧ください。

## 事業別概況

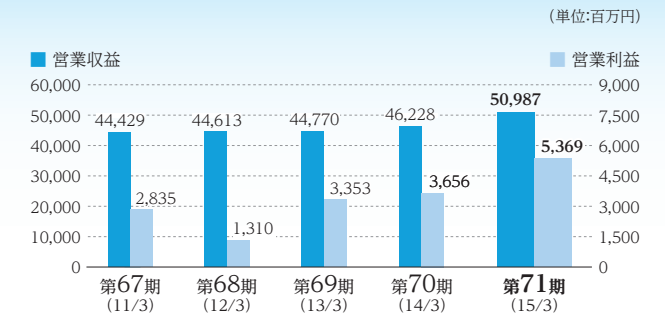


### 施設管理運営業

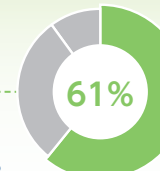


対前期比増収増益となりました。

- 航空旅客数の増加などにより、国内線施設利用料収入が増加。
- 羽田空港国際線旅客ターミナルビルにおける業務受託料収入や昨年9月に開業しました「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」による収入などが増加。

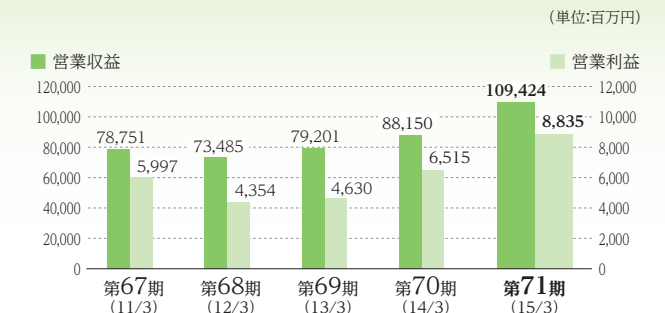


### 物品販売業

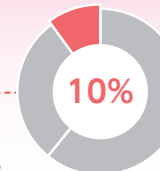


対前期比増収増益となりました。

- 訪日外国人旅客数の大幅な増加、購買単価や購買率の改善、店舗の新規展開などにより、国内線売店売上、国際線売店売上ともに増加。
- 羽田空港、成田空港、関西空港、中部空港といった主要空港への卸売などが好調に推移して増加。

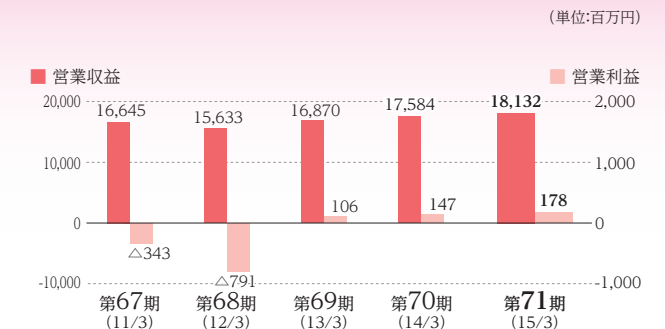


### 飲食業



対前期比増収増益となりました。

- 飲食店舗売上は、航空旅客数の増加や複数店舗の改廃を行い微増。
- 顧客である外国航空会社の機材小型化による旅客数の減少で、機内食売上が減少。
- 羽田空港国際線旅客ターミナルビルの拡張に伴う業務受託料収入が増加。

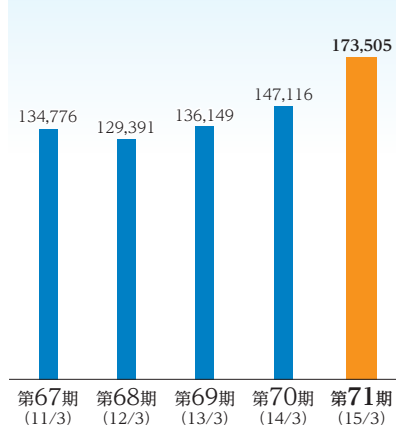


# 連結財務ハイライト

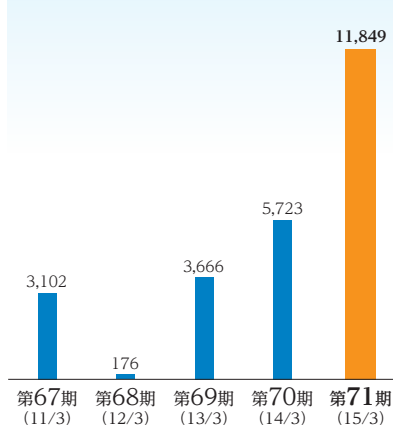
## 決算のポイント

- 営業収益** 訪日外国人旅客数の増加や商業施設の活性化などにより物品販売業を中心に増収
- 経常利益** 上記要因に加え、原価率の改善や持分法適用関連会社の業績の好転などにより増益
- 総資産** ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債の発行手取金の入金などにより現金及び預金が増加

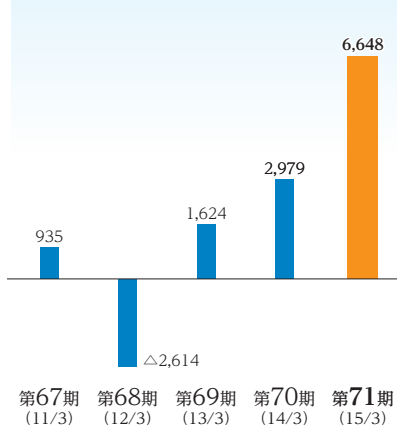
営業収益(百万円)



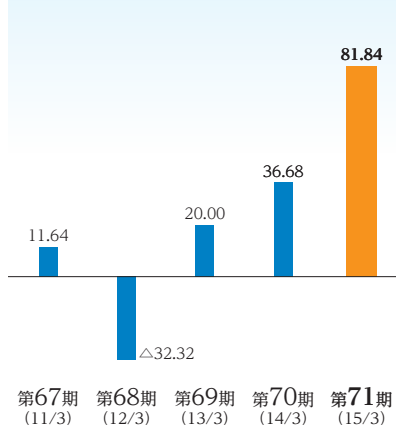
経常利益(百万円)



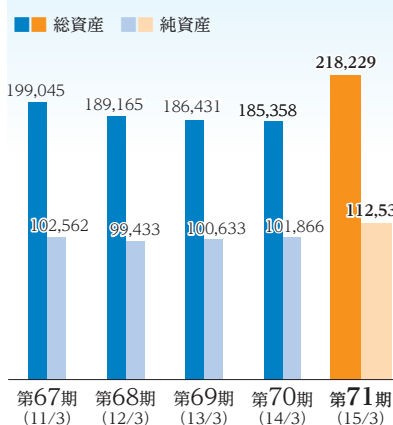
当期純利益(百万円)



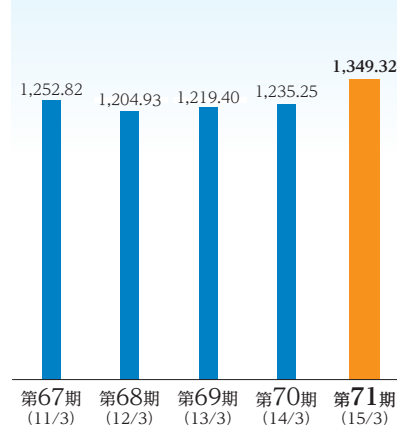
1株当たり当期純利益(円)



総資産／純資産(百万円)



1株当たり純資産(円)



# 連結財務諸表(要旨)

(単位:百万円)

連結貸借対照表	前期 2014年3月31日現在	当期 2015年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	32,088	69,480
固定資産	153,270	148,748
有形固定資産	116,182	109,453
無形固定資産	1,949	1,416
投資その他の資産	35,137	37,878
資産合計	185,358	218,229
<b>負債の部</b>		
流動負債	31,472	38,029
固定負債	52,019	67,669
負債合計	83,492	105,699
<b>純資産の部</b>		
株主資本	102,397	108,808
その他の包括利益累計額	△2,058	795
少数株主持分	1,527	2,926
純資産合計	101,866	112,530
負債純資産合計	185,358	218,229

(単位:百万円)

連結損益計算書	前期 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日	当期 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日
営業収益	147,116	173,505
営業総利益	73,026	83,548
販売費及び一般管理費	66,831	73,659
営業利益	6,194	9,888
営業外収益	1,315	2,979
営業外費用	1,786	1,018
経常利益	5,723	11,849
特別利益	180	—
特別損失	235	330
税金等調整前当期純利益	5,668	11,519
法人税、住民税及び事業税	2,905	4,576
法人税等調整額	△242	299
少数株主損益調整前当期純利益	3,005	6,643
少数株主利益(△は損失)	25	△4
当期純利益	2,979	6,648

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書	前期 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日	当期 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,204	19,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,660	△4,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,574	16,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,017	31,763
現金及び現金同等物の期首残高	16,151	15,133
現金及び現金同等物の期末残高	15,133	46,897

詳細な財務情報は、当社ホームページ「株主・投資家情報」をご覧ください。 <http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>



# 会社概要 (2015年6月26日現在)

## 会社概要

商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務

## 本社及び営業所など

本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地
中部営業所	愛知県常滑市栄町一丁目124番地

## グループ構成

施設管理 運営業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日本空港テクノ(株)</li> <li>■羽田エアポートセキュリティー(株)</li> <li>■(株)櫻商会</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■(株)ビッグウイング</li> <li>■羽田旅客サービス(株)</li> <li>■ジャパン・エアポート・グランドハンドリング(株)</li> </ul>
物品販売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■(株)Japan Duty Free Fa-So-La三越伊勢丹</li> <li>■国際協商(株)</li> <li>■(株)日本空港ロジテム</li> <li>■(株)羽田エアポートエンタープライズ</li> <li>■(株)浜真</li> <li>■羽双(成都)商貿有限公司</li> </ul>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東京エアポートレストラン(株)</li> <li>■コスモ企業(株)</li> <li>■(株)シー・ティ・ティ</li> <li>■会館開発(株)</li> </ul>

## 役員

代表取締役社長執行役員	鷹城 勲
代表取締役副社長執行役員	横田 信秋
代表取締役副社長執行役員	鈴木 久泰
専務取締役執行役員	那波 史郎
専務取締役執行役員	赤堀 正俊
専務取締役執行役員	越智 久男
専務取締役執行役員	米本 靖英
常務取締役執行役員	篠原 敏夫
常務取締役執行役員	加藤 勝也
常務取締役執行役員	知久 守一
常務取締役執行役員	田中 一仁
取締役(非常勤)	大西 賢
取締役(非常勤)	高木 茂
取締役(非常勤)	伊藤 博行
取締役(非常勤)	原田 一之
監査役	古賀 宰
監査役	小野 哲治
監査役(非常勤)	赤井 文彌
監査役(非常勤)	竹島 一彦
専務執行役員	河合 誠
常務執行役員	阿南 優樹
常務執行役員	仲野 眞琴
常務執行役員	徳武 大介
常務執行役員	久保 健治
執行役員	大谷 益夫
執行役員	川崎 智洋
執行役員	藤野 威
執行役員	小山 陽子
執行役員	藤本 篤史

# 株式情報 (2015年3月31日現在)

## 株式の状況

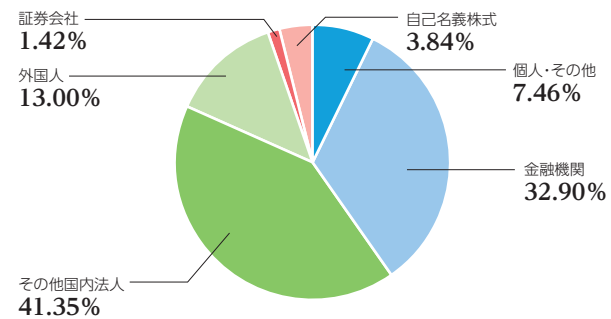
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 3,247,182株)	84,476,500 株
株主数	8,767 名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本航空株式会社	4,398	5.41
ANAホールディングス株式会社	4,398	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	4.19
株式会社みずほ銀行	3,300	4.06
三菱地所株式会社	3,111	3.83
大成建設株式会社	2,831	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,598	3.19
日本通運株式会社	2,337	2.87
東京海上日動火災保険株式会社	2,071	2.55

(注)持株比率は自己株式(3,247,182株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式数分布



# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

## 株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、株主ご優待券を贈呈させていただいております。

### 株主ご優待券

羽田空港旅客ターミナル内店舗をはじめとする当社指定店舗にてご利用いただけます。



ご所有株式数	ご優待券
100株以上1,000株未満の場合	1枚1,000円分
1,000株以上10,000株未満の場合	2枚2,000円分
10,000株以上の場合	3枚3,000円分

#### ご利用いただける店舗

- 羽田空港 第1・第2・国際線旅客ターミナルの当社指定の店舗
- 成田空港の当社指定の店舗
- 関西空港の当社指定の店舗
- GIFTrip by JAPAN DUTY FREE(アクアシティお台場)
- Tokyo's Tokyo(東急プラザ表参道原宿)



羽田空港 第1旅客ターミナル「MARKET PLACE」

※一部店舗、商品(金券など)によってはご利用いただけない場合がございます。

### 株主ご優待割引券

羽田空港、成田空港および関西空港内の当社指定免税売店でご利用いただける「株主ご優待割引券(10%引)」を1単元(100株)以上ご所有の株主さまに対し、**一律5枚贈呈**いたします。



ご所有株式数	ご優待券
100株以上	割引券(10%引) 5枚

#### ご利用いただける店舗

- 羽田空港 国際線旅客ターミナル 国際線3F出国エリア中央にございます「TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL 店」のみご利用いただけます。
- 成田空港、関西空港の当社指定店舗



羽田空港 国際線旅客ターミナル「TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL 店」

※店舗によっては一部ご利用いただけない商品がございます。

詳しくは、同送のご利用可能店舗一覧または以下のURLをご覧ください。

[http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock\\_information/preferential.html](http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html)

## 基本理念



JAPAN AIRPORT TERMINAL

1953年、当社は羽田空港の旅客ターミナルビルの建設・管理運営を目的として設立されました。

現在、当社グループは、施設管理運営業のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

#### 日本空港ビルグループのCS理念

「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」をCS理念とし、すべてのお客さまにご満足いただけるよう、サービスの向上に取り組んでいます。

#### 基本理念

### 公共性と企業性の調和

#### 経営方針

- 旅客ターミナルビルにおける絶対安全の確立
- お客さま本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナルビル運営
- 安定的かつ効率的な旅客ターミナルビル運営
- 企業体質の強化およびグループ企業の総合力向上

財務情報は、当社ホームページの「株主・投資家情報」をご覧ください。



<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>